

第5章



基本構想の実現に向けて

1 今後の進め方

第5章 基本構想の実現に向けて

基本構想の実現へ向けた、取組についての基本的な考え方を示します。これらの考え方に基づいて、基本構想の実現を着実に図っていきます。

1 今後の進め方

- ・整備にあたっては、全体を俯瞰しながら、現在の活動状況や空間特性分析等を踏まえ、具体的な機能・活動及びこれを実現するために最適な設備や場所を定めて進めていきます。
- ・整備と併行して多くの地域資源を活かし、それを結び付ける様々な活動を展開させ、多様なストーリーをもった新たな価値を創造する居場所としていきます。
- ・プロムナードの再整備やマネジメントにおいては、区民やUDCTak等の地域活動団体、大学等の教育機関と密に連携していきます。
- ・整備後の活用や運営を見据え、パークマネジメントガイドラインとも整合を図りながら、具体的なアクションを推進していきます。
- ・整備後の姿のみならずそのプロセス等も発信しながら、特徴的で魅力資源でもあるプロムナードを高島平地域の価値向上につなげていきます。

1 今後の進め方

高島平緑地を中心とする東西 2.7km、南北 1km におよぶプロムナードを『高島平の自慢となるみどり豊かな居場所』としていくため、地域がもつ様々な活動やポテンシャルを最大限活かし、それぞれを戦略的に結び付けることで、地域の価値や魅力向上につなげていく取組を行っていきます。趣向を凝らした取組をプロムナードで行うことで、より活気ある活動が生まれる機運や地域全体の雰囲気を高め、地域内外から人々が集まる場所として、地域をリードしていきます。

- ・整備にあたっては、その効果を最大化するために全体を俯瞰しながら、現在の活動状況や空間特性分析等を踏まえ、具体的な機能・活動及びこれを実現するために最適な設備や場所を定めて進めていきます。
- ・整備と併行して駅や商店街等の周辺施設、地域住民、地域活動団体等の多くの地域資源を活かし、それを結び付ける様々な活動を展開させることで、多様なストーリーをもったプロムナードとして、新たな価値を創造する居場所としていきます。
- ・プロムナードの再整備やマネジメントにおいては、まちづくりの主役である区民やUDCTak等の地域活動団体、大学等の教育機関と密に連携していきます。
- ・実際の整備に先立って社会実験を実施する等、整備後の活用や運営を見据え、パークマネジメントガイドラインとも整合を図りながら、具体的なアクションを推進していきます。
- ・整備後の姿のみならずそのプロセス等も発信しながら、区民・来訪者等の多様な利用者に身近な場所として認識してもらうことで、特徴的で魅力資源でもあるプロムナードを高島平地域の価値向上につなげていきます。



民学公の連携による具体的なアクションのイメージ
(公共空間活用の社会実験/主催:UDCTak・板橋区)

コラム：アーバンデザインセンター高島平（UDCTak）とは

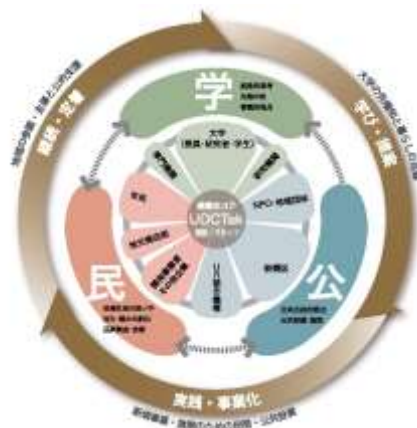
高島平地域グランドデザインでは、民・学・公が連携してまちの将来像を描き、実現するまちづくりのプラットフォームの必要性が打ち出され、この方針に従い平成 28 年 11 月に設立されたのがアーバンデザインセンター高島平、略して「UDCTak」です。

「アーバンデザインセンター」とは、日本では千葉県柏市に 2006 年に設立された「柏の葉アーバンデザインセンター」から始まった民・学・公連携のまちづくりの仕組みです。都市空間のデザインを担う専門家が主導する等、（公共）空間デザインに軸足を置いているという特徴があります。

UDCTak は、民・学・公の様々な組織や個人が、人・活動・場所・資金などを持ち寄って運営する共同運営体制を基本とし、地域の活動の連携や情報発信の役割も担っていくことをめざしています。

【現在の主な活動】

- ・大学等連携プロジェクト
- ・高島平プロムナード研究部会・勉強会の実施、高島平プロムナード基本構想への提言
- ・公共空間活用の社会実験の実施
- ・デザインスクールの実施



民・学・公連携の概念図